



Title	森谷繁教授の略歴と研究業績
Citation	北海道大学大学院教育学研究科紀要, 99, 185-204
Issue Date	2006-09-25
Doc URL	<a href="https://hdl.handle.net/2115/14798">https://hdl.handle.net/2115/14798</a>
Type	other
File Information	2006-99-185.pdf



## 森谷 紮教授の略歴と研究業績

### Professor Kiyosi Moriya's Brief Personal Record and Collection of Works

#### 1. 略歴

##### (1) 略歴等

- 1943 (昭和18) 年2月18日 中国大連市にて生まれる
- 1961 (昭和36) 年3月 岩手県立宮古高等学校卒業
- 1961 (昭和36) 年4月 北海道大学理類入学
- 1965 (昭和40) 年3月 北海道大学医学部薬学科卒業
- 1965 (昭和40) 年4月 薬剤師登録
- 1972 (昭和47) 年6月 医学博士 (北海道大学) 学位記 971 号
- 1965 (昭和40) 年5月 北海道大学医学部助手 (放射線医学講座)
- 1966 (昭和41) 年11月 北海道大学医学部助手 (生理学第一講座)
- 1977 (昭和52) 年4月 北海道大学教育学部助教授
- 1986 (昭和61) 年5月 日本学術振興会 在外研究員 (カナダ)
- 1992 (平成4) 年5月 北海道大学教育学部教授
- 1998 (平成10) 年4月 日赤北海道看護大学講師
- 2000 (平成12) 年4月 北海道大学大学院教育学研究科健康スポーツ科学講座教授
- 2003 (平成15) 年4月 北海道文教大学人間科学部講師
- 2003 (平成15) 年4月 北海道大学体育指導センター所長
- 2003 (平成15) 年10月 北海道大学発達脳科学研究教育センター基幹教員
- 2006 (平成18) 年3月 北海道大学定年退職
- 2006 (平成18) 年4月 北海道大学名誉教授
- 2006 (平成18) 年4月 天使大学看護栄養学研究科栄養管理学専攻 教授  
(現在に至る)

##### (2) 教育活動

###### ① 北海道大学全学教育 (含教養部)

- 1977—2005 年 健康科学 (含保健体育理論)
- 2004—2005 年 北国の健康と運動・スポーツ (科学技術の世界)
- 2004—2005 年 食の健康学 (科学技術の世界)  
他に健康科学演習, 総合講義「女性学」

###### ② 北海道大学教育学部

- 1977—2005 年 教育生理学 (隔年開講), 栄養教育論 (隔年開講)
- 1977—2005 年 教育学専門演習 (健康教育), 健康体育学実験 (分担)

1993—2003年 教育学概説（分担）  
他に卒論指導，教育学基礎演習，HUSTEP，教育学特別講義

- ③ 北海道大学大学院教育学研究科  
健康教育科学基礎論，健康教育科学特論，健康スポーツ科学研究法，  
文献講読，論文指導

- ④ 他大学等  
1998—1999年 日赤北海道看護大学  
健康科学  
2003—2004年 北海道文教大学人間科学部  
北国の健康科学

### (3) 学内・学外での活動

- ① 北海道大学教養部  
学科委員（1980年から隔年）  
教養部広報誌「<sup>ようらく</sup>瓔珞」編集委員（1984年—1986年）
- ② 北海道大学教育学部  
研究計画委員（1981（昭和56）年—1983（昭和58）年）  
教務委員（1996（平成8）年—1998（平成10）年）
- ③ 北海道大学  
学生部委員（1988（平成元）年—1990（平成2）年）  
学生相談室運営委員（1990（平成2）年—1992（平成4）年）  
総長補佐（2000（平成12）年—2001（平成13）年）  
セクシュアルハラスメント相談員（2000（平成12）年—2003（平成15）年）  
体育指導センター所長（2003（平成15）年—2005（平成17）年）  
男女共同参画委員（2005（平成17）年—2006（平成18）年）  
発達脳科学研究教育センター教務委員（平成15年—18年）

### (4) 社会的活動

- ① 2003（平成15）年 （財団法人）植物情報物質研究センター理事（現在に至る）
- ② 2003（平成15）年 札幌市消防局消防科学研究所との共同研究（2006（平成18）年まで）
- ③ 2004（平成16）年 札幌市食生活指針検討委員会委員長（2005（平成17）年まで）
- ④ 1978（昭和53）年 北海道女性研究者の会会員（世話人）（現在に至る）

## 2. 研究業績

### (1) 原著論文

1. Itoh, S., M. Tsukada and K. Omoe-Moriya (1967) Effect of vasopressin on plasma lipids in the rat. *Jpn. J. Physiol.*, 17, 667-677.
2. Itoh, S., K. Moriya and H. Shirato (1968) Fatty acid composition of human subcutaneous fat in the winter. *J. Physiol. Soc. Japan*, 30, 831-832.

3. Itoh, S. and K. Moriya (1968) Endogenous lipoprotein lipase activity in the plasma of the Ainu. *J. Physiol. Soc. Japan*, 30, 875-876.
4. Moriya, k. and S. Itoh (1969) Inhibition of adipose tissue lipase activity following administration of vasopression. *Jpn. J. Physiol.*, 19, 831-840.
5. Itoh, S, A. Kuroshima, K. Doi, K. Yoshimura and K. Moriya (1969) Plasma lipid profiles in the winter of Hokkaido Inhabitants. *Jpn. J. Physiol.*, 19, 233-242.
6. Itoh, S, A. Kuroshima, K. Doi, K. Moriya, H. Shirato and K. Yoshimura (1969) Lipid metabolism in relation to cold adaptability in man. *Fed. Proc.*, 28, 960-964.
7. Moriya, k. and S. Itoh (1969) Regional and seasonal differences in the fatty acid composition of human subcutaneous fat. *Int. J. Biometeor.*, 13, 141-146.
8. Moriya, k. and S. Itoh (1969) Fatty acid composition of brown fat in the rat. *Jpn. J. physiol.*, 19, 775-790.
9. 岡本正敏, 堀内淑彦, 森谷黎, 伊藤真次 (1970) 尿中 Testosterone 及び Epitestosterone の Gas-liquid Chromatography による測定法並びにその排泄値の検討. *日本内分泌雑誌*, 46, 908-917.
10. Okamoto, M, C, Setaishi, Y. Horiuchi, K. Mashimo, K. Moriya and S. Itoh (1971) Urinary excretion of testosterone and epitestosterone and plasma levels of LH and testosterone in the Japanese and Ainu. *J. Clin. Endocr.*, 32, 673-674.
11. Okamoto, M, Setaishi, C, Nakagawa, K, Horiuchi, Y, Moriya, K and Itoh, S (1971) Diurnal variation in the levels of plasma and urinary androgens. *J. Clin. Endocr.*, 32, 846-851.
12. 森谷黎 (1971) 寒冷下飼育ラットの脂肪組織脂酸構成. *北海道医誌*, 46, 513-521.
13. Moriya, K, Kuroshima, A and Itoh, S (1972) Plasma free fatty acid composition in Ainu and Japanese men. *Int. J. Biometeor.*, 16, 199-206.
14. 森谷黎 (1972) 寒さに対する脂肪組織脂酸構成の適応性変化. *北海道医誌*, 47, 277-287.
15. 森谷黎, 黒島晨汎, 伊藤真次 (1973) 累代寒冷環境飼育ラットの耐寒性. *北海道医誌*, 48, 53-65.
16. 森谷黎, 黒島晨汎, 伊藤真次 (1973) 累代寒冷環境飼育ラットの非ふるえ産熱とくにアドレナリン遮断剤の影響. *北海道医誌*, 48, 66-74.
17. 黒島晨汎, 森谷黎, 伊藤真次 (1974) 累代寒冷環境飼育ラットの甲状腺機能. *北海道医誌*, 49, 59-60.
18. 前久保博士, 福島直樹, 阿部和男, 森谷黎, 伊藤真次 (1974) 脳室内 6-hydroxydopamine 注射ラットの寒冷馴化について. *北海道医誌*, 49, 54-57.
19. 森谷黎, 前久保博士, 伊藤真次 (1974) 累代寒冷環境飼育ラットのノルエピネフリンに対する反応, とくに血中代謝物質の変化について. *北海道医誌*, 49, 98-102.
20. Moriya, K, Maekubo, H and Itoh, S (1974) Turnover rate of plasma free fatty acids in cold-acclimated rats. *Jpn. J. Physiol.*, 24, 419-431.
21. Moriya, K, Maekubo, H, Honma, K and Itoh, S (1975) Effects of norepinephrine and thyroxine on the turnover rate of plasma free fatty acids. *Jpn. J. Physiol.*, 25, 733-746.
22. 和田一雄, 森谷黎, 原文江, 大沢済 (1975) 志賀高原のニホンザルの体脂肪について. 生

- 理生態, 16, 104-107.
23. Maekubo, H, Moriya, K and Hiroshige, T (1977) The role of ketone bodies in nonshivering thermogenesis in cold-acclimated rats. *J. Appl. Physiol.*, 42(2), 159-165.
  24. Moriya, K, Maekubo, H and Hiroshige, T (1977) Effect of norepinephrine on the uptake and the oxidation of plasma free fatty acids in cold-acclimated rats. *Jpn. J. Physiol.*, 27(5), 601-616.
  25. Moriya, K and Hiroshige, T (1978) Sex ratio of offsprings of rats bred at 5°C. *Int. J. Biometeorol.*, 22(4), 312-315.
  26. 森谷 紘, 山口智弘, 広重力 (1980) 寒冷適応ラットにおける中枢神経作用薬感受性の変化. *日本生気象学会雑誌*, 17(1), 1-8.
  27. 森谷 紘, 井川和夫, 広重力 (1980) ラットの非ふるえ産熱と血漿遊離脂肪酸利用に及ぼす運動鍛錬効果. *日本生気象学会雑誌*, 17(2), 59-64.
  28. 山口智弘, 森谷 紘, 久保田直子 (1980) キサンチン類含有飲料について(1)大学受験前後における生徒・学生の嗜好傾向. *保健の科学*, 22(6), 439-442.
  29. 山口智弘, 森谷 紘, 久保田直子 (1981) キサンチン類含有飲料について(2)大学受験前後における生徒・学生の疲労感との関連. *保健の科学*, 23, 135-138.
  30. Moriya, K, Kobayashi, M and Hiroshige, T (1981) Oxidation of plasma free fatty acids in nonshivering thermogenesis of rats treated chronically with norepinephrine and thyroxine. *Jpn. J. Physiol.*, 31(5), 667-676.
  31. Moriya, K and Hiroshige, T (1981) Stimulation of nonshivering thermogenesis in cold: Assessment of uptake and oxidation of free fatty acids in the thermogenesis in rats treated chronically with norepinephrine and thyroxine. *Acta Univ. Carolinae-Biologica.*, 1979, 347-348.
  32. 森谷 紘 (1982) 寒冷血管反応と寒冷昇圧反応からみた運動鍛錬者の耐寒性. *日本生気象学雑誌*, 19(1), 10-15.
  33. 森谷 紘 (1982) 生活リズムと自覚的健康状態の相関——大学教養課程における健康教育のための基礎資料——北海道大学教育学部紀要, 41, 1-12.
  34. Moriya, K, Yahata, T and Kuroshima, A (1985) Lasting consistency of cold adaptability of rats reared in cold for many generations. *Jpn. J. Physiol.*, 35, 423-442.
  35. 石田裕紀子, 森谷 紘, 福地保馬 (1986) 都市在宅高齢者の健康状態と生きがい感に関する調査研究. *保健の科学*, 28, 59-61.
  36. 石田裕紀子, 森谷 紘, 福地保馬 (1986) 都市在宅高齢者の健康・生きがいと生活歴ならびに基礎体力の関連について. *保健の科学*, 28, 500-502.
  37. 森谷 紘 (1986) 簡易食事診断法の利用による栄養教育の試み. *栄養学雑誌*, 44, 13-25.
  38. Moriya, K (1986) Effect of exercise training on the disappearance of cold adaptability in rats. *Eur. J. Appl. Physiol.*, 55, 267-272.
  39. Moriya, K, J. LeBlanc and J. Arnold (1987) Effect of exercise and intermittent cold exposure on shivering and nonshivering thermogenesis in rats. *Jpn. J. Physiol.*, 37, 715-727.
  40. Moriya, K, J. Arnold and J. LeBlanc (1988) Shivering and nonshivering thermogenesis

- in exercised, cold-deacclimated rats. *Eur. J. Appl. Physiol.*, 57, 467-473.
41. 森谷黎 (1989) バイオフィードバックシステムを利用したリラクゼーション訓練の心身諸機能に及ぼす影響. 北海道大学教育学部紀要, 52, 51-67.
  42. 森谷黎 (1989) 最大下運動負荷時の体温と血液組成の変動. 日本生気象学会雑誌, 26(3), 135-142.
  43. 森谷黎, 布上恭子, 新国三千代, 福地保馬 (1990) 都市部におけるスポーツ健康教室参加高齢者の生活・健康. 生きがいに関する研究. 高齢者問題研究 6号, 101-114.
  44. Moriya, K and Nakagawa, K (1990) Cold-induced vasodilatation of finger and maximal oxygen consumption of young female athletes born in Hokkaido. *Int. J. Biometeorol.*, 34, 15-19.
  45. 森谷黎, 中川功哉, 福地保馬 (1990) 青少年のライフスタイルと精神的健康に関する研究. マツダ財団研究報告書 (青少年健全育成関係), 3, 34-54.
  46. 森谷黎, 新国三千代, 布上恭子, 福地保馬 (1991) 都市部における老人クラブ参加高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究. 高齢者問題研究, 7, 55-71.
  47. 森谷黎, 新国三千代, 福地保馬 (1992) 大学生にみるライフスタイルと心身諸機能の連関. 北海道大学教育学部紀要 57, 185-221.
  48. 森谷黎, 福地保馬, 洲崎久代, 中野康子, 佐々木久子, 新国三千代, 布上恭子 (1992) 道東地域に居住する在宅高齢者の健康・生きがい・基礎体力に関する研究. 高齢者問題研究, 8, 93-109.
  49. 森谷黎, 須田力, 服部正明, 横山真太郎 (1993) 寒冷気曝露された青年男子の体温調節反応と最大酸素摂取量の関係. 日本生気象学会雑誌, 30, 77-84.
  50. 森谷黎, 堀内雅弘, 中川功哉 (1993) 青年女子の寒冷血管反応と最大酸素摂取能に及ぼす性周期の影響. 日本生気象学会雑誌, 30, 179-186.
  51. 森谷黎, 布上恭子 (1994) 女性高齢者の健康・生きがい・基礎体力の特徴について. 高齢者問題研究, 10: 9-15.
  52. Ocampo, M B and Moriya, K (1994) A Comparative study on Nutritional Beliefs and Practices of Mothers in Japan and Philippines. 北海道大学教育学部紀要, 62, 37-82.
  53. 森谷黎, 布上恭子 (1996) 生涯体育と高齢者の健康・生きがい・基礎体力について. 高齢者問題研究, 12: 123-131.
  54. 森谷黎, 本田健一, 西谷栄治 (1996) 利尻町民の長寿とライフスタイルの特徴に関する調査研究. 利尻研究, 第16号, 63-75.
  55. 小田史郎, 森谷黎, 福地保馬 (1997) 安静時, 運動後の回復時における自然音の休養効果について. 疲労と休養の科学, 12, 1, 91-101.
  56. Ocampo, M and Moriya, K (1997) A comparative study of nutrition and health of mothers in Japan and Philippines. *Southeast Asian J Tropical Med & Public Health*, 28, 645-656.
  57. 宮島成江, 森谷黎, 阿岸祐幸 (1997) 心拍応答と気分の指標からみたラベンダー湯入浴のリラクゼーション効果. 日本生気象学会誌, 34, 131-138. (1997, 12)
  58. 宮島成江, 森谷黎, 阿岸祐幸 (1997) 皮膚温からみたラベンダー湯入浴のリラクゼーション効果. 日本生気象学会誌, 34, 139-146.

59. 岩田銀子, 石塚伊緒子, 森谷黎 (1997) 北海道に於ける妊娠・出産に関する俗信から見た産育意識の一考察. 北海道大学教育学部紀要, 74, 1-22.
60. 森谷黎, 能登恵, 布上恭子 (1997) パークゴルフ愛好高齢者の健康・生きがい・基礎体力について. 高齢者問題研究, 13: 113-122.
61. 森谷黎 (1998) 女性の防衛体力の特性 — 健康づくりの観点から — 北海道大学教育学部紀要, 75, 1 21-137.
62. 宮島成江, 小田史郎, 森谷黎, 阿岸祐幸 (1998) 脳波からみたラベンダー湯入浴のリラクセーション効果. 北海道大学教育学部紀要, 75, 139-147.
63. 松本徳子, 森谷黎, 武田秀勝 (1998) 臨床実習の前後における免疫系と性格特性についての基礎的研究. 北海道リハビリテーション学会雑誌, 26, 23-27.
64. Shirotni, Y, Horiuchi, M and Moriya, K (1998) Physical characteristics and food-intake in Japanese young children. Research and Clinical Center for Child Development (RCCCD) (Faculty of Education, Hokkaido University) Annual Report, 20, 49-61.
65. Oda, S, Matsumoto, T, Nakagawa, K and Moriya, K (1999) Relaxation effects in humans of underwater exercise of moderate intensity. Eur J Appl Physiol, 80, 253-259.
66. 藤原喜一郎, 森谷黎, 福地保馬 (1998) 壁紙の色彩が作業時と作業後の自律神経機能に及ぼす影響. 疲労と休養の科学, 13, 169-187.
67. 吉川理香, 森谷黎, 福地保馬 (1998) VDT 作業による疲労の発現とその回復に及ぼす花の影響. 疲労と休養の科学, 13, 155-166.
68. 新山雅美, 森田茂, 内田英二, 小田史郎, 森谷黎(他2名) (1999) 幼犬の特別養護老人ホーム長期訪問活動の効果. 高齢者問題研究, 15, 107-120.
69. 森谷黎, 小田史郎, 宮島成江, 侘美靖, 猫塚真里子 (2000) 高齢者の QOL 向上と芳香療法の可能性に関する研究. 高齢者問題研究, 16, 63-75.
70. 岩田銀子, 山内葉月, 三田村保, 森谷黎 (2000) 妊婦の不安の分析 — 質問紙 STAI, POMS 指標を活用して — 母性衛生, 41 (2), 1-6.
71. 岩田銀子, 渡辺明日香, 柳原真智子, 三田村保, 森谷黎 (2000) 妊婦のストレスによる気分の変化とソーシャルサポートの関連 — SBI ソーシャルサポートを用いて — 看護総合科学研究会誌, 3(1): 21-27.
72. 宮島成江, 清水富弘, 森谷黎, 水野徳子, 小田史郎, 阿岸裕幸 (2000) 人工海水浴における塩類濃度が心電図に与える影響. 日生氣誌, 37(4), 123-129.
73. 森谷黎 (2000) ラベンダー湯足浴による睡眠の改善. AROMA RESEARCH, 1(4), 62-69.
74. 小田史郎, 清野彩, 森谷黎 (2001) 大学生における夜間睡眠と運動習慣の関連についての実態調査. 体力科学, 50(2), 245-254.
75. Oda, S and Moriya, K (2001) The effects of recreational underwater exercise in early evening on sleep for physically untrained male subjects. Psychiatry and Clinical Neurosciences, 55(3), 179-181.
76. Oda, S, Mizuno, T, Nakagawa, K and Moriya, K (2001) Recreational underwater exercise facilitates the sleep continuity in physically untrained males. Adv Exercise Sports Physiol, 7(2), 59-63.
77. 井瀧千恵子, 門間正子, 許栄海, 小田史郎, 森谷黎, 武田秀勝 (2001) 大学生の運動習慣

- がNK細胞活性と血液性状に及ぼす影響。札幌医科大学保健医療学部紀要, 第4号 23-27.
78. 角田英男, 矢野悦子, 前田智雄, 武藤俊昭, 森谷黎 (2002) カモミールのリラックス効果とその応用——機能性を有する温めるゼリー食品——. AROMA RESEARCH, 3(2), 31-36.
79. 岩崎輝雄, 岩崎洋一, 矢崎俊樹, 森谷黎, 阿岸祐幸 (2002) 気候区から見た百歳長寿者の居住分布の経年変化に関する調査. 日湿気物医誌, 65(3), 147-152.
80. 岩田銀子, 伊藤久美子, 柳原真智子, 三田村保, 森谷黎 (2001) 妊娠の情動に対するソーシャルサポート効果の検討(第1報)——夫のサポートと不安の関連に焦点を当てて——. 看護総合科学, 4(2), 15-27.
81. 岩田銀子, 柳原真智子, 三田村保, 森谷黎 (2001) 妊娠の情動に対するソーシャルサポート効果の検討(第2報)——夫以外の人および助産婦のサポートと不安の軽減に焦点を当てて——. 看護総合科学, 4(2), 28-41.
82. 中村裕美, 森谷黎, 小田史郎, 矢野悦子, 角田英男 (2002) カモミール茶摂取による自律神経活性と脳波感性スペクトルの変化. AROMA RESEARCH, 3(3), 251-255.
83. 森谷黎, 小田史郎, 中村裕美, 矢野悦子, 角田英男 (2001) カモミール茶摂取による自律神経機能と感情指標の変化——青年男性における検討——. バイオフィードバック研究, 28, 62-70.
84. 井瀧千恵子, 門間正子, 許栄海, 森谷黎, 武田秀勝 (2002) 看護学生の臨地実習後の感情とNK細胞活性に関する検討. 札幌医科大学保健医療学部紀要, 5, 51-55.
85. 渡部(宮島)成江, 水野(松本)徳子, 清水富弘, 森谷黎, 小田史郎, 阿岸祐幸 (2003) 人工海水温浴における塩類濃度が脳波に与える影響. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 88, 111-120.
86. 井瀧千恵子, 門間正子, 小田史郎, 武田秀勝, 森谷黎 (2003) 青年期女性における快適自己ペース走が感情に及ぼす影響とその関連要因. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 88, 235-246.
87. 鈴木純子, 荒川義人, 森谷黎 (2003) 大学生の食事摂取状況と食生活に関する行動変容段階. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 88, 247-258.
88. 清野彩, 小田史郎, 森谷黎 (2003) 8週間の水中運動教室参加が中高年女性の健康に及ぼす影響. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 88, 259-268.
89. 橋本恵子, 森谷黎, 福地保馬 (2003) 子どもの食事満足度の検討～食品摂取状況・自覚的健康観との関連～. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 88, 269-278.
90. 百々瀬いづみ, 荒川義人, 森谷黎 (2003) 家庭科教諭がとらえた高校の健康と食生活. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 99, 279-290.
91. 角田英男, 矢野悦子, 森谷黎 (2004) カモミールの香りによる血流改善効果. AROMA RESEARCH, 5, 57-61.
92. 小田史郎, 佐美靖, 森谷黎 (2004) 高齢者の夜間睡眠を改善するための足浴法の検討——足浴のタイミングの違いが夜間睡眠に及ぼす影響——. 高齢者問題研究, 20, 45-55.
93. 小橋元, 太田薫里, 森谷黎, 福地保馬 (2004) 大学生が小中高校時代に受けてきた健康教育について. 社会医学研究.
94. 渡辺明日香, 森谷黎, 小田史郎, 福田紀子, 本間裕子 (2005) 閉経後の中高年女性に対す

- るダンス／ムーブメントセラピーの短期的心身効果——感情と自覚的睡眠感を中心として——. 心身医学, 45(2), 133-142.
95. 百々瀬いづみ, 荒川義人, 森谷 紱 (2004) 高校生の食生活に関する知識・意識・行動の現状と変容——北海道2高校の分析から——, 学校保健研究, 46(5), 554-567.
96. 百々瀬いづみ, 荒川義人, 森谷 紱 (2005) 高等学校「家庭科」教科と栄養教育の連携の試み——給食を活用した事例から——. 家庭科教育, 79(2), 51-57.
97. 佐美靖, 森谷 紱 (2005) 週1回12週間の水中ウォーキング教室に参加した中高年女性の健脚度関連体力, 感情及び冬道セルフエフィカシーの向上, 日本生気象学会雑誌, 42(1), 5-15.
98. 佐美靖, 森谷 紱, 小田史郎, アデイカリ・メリサ・オカンボ, 福岡永告子 (2005) 週2回12週間にわたって水中運動を実施した高齢女性の健脚度関連体力, 冬道セルフエフィカシー, 精神的健康度とQOLの改善. 日本生気象学会雑誌, 42(1), 17-27.
99. 佐美靖, 森谷 紱 (2005) YOSAKOIソーラン祭り参加による運動量増加と体力の向上. 日本生気象学会雑誌, 42(4), 145-157.
100. 井瀧千恵子, 森谷 紱, 小田史郎, 武田秀勝(2006)若年女性の黄体期における快適自己ペース運動は血中エストラジオール濃度を上昇させ感情を改善する. 日本運動生理誌, 13(1), 19-28.
101. 岩田銀子, 森谷 紱 (2005) 妊婦の不安とソーシャルサポート. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 97, 81-93.
102. 関谷正子, 森谷 紱 (2005) 在宅高齢者に対する受動的音楽療法の生理的・心理的効果. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 97, 69-79.
103. 鈴木純子, 荒川義人, 大塚吉則, 安江千歳, 森谷 紱 (2006) 大学生における行動変容段階別アプローチとGlycemic Index (GI)を用いた栄養教育の検討. 栄養学雑誌, 64(1), 21-29.

## (2) 総説

1. 森谷 紱, 岡本正敏(1970)下重体——性腺系の日内リズム. ホルモンと臨床, 18, 915-919.
2. 伊藤真次, 森谷 紱(1971)寒さへの適応 (6)脂酸構成の適応性変化. 北海道医誌, 46, 1-11.
3. 森谷 紱 (1975) 寒冷適応における脂質代謝の意義. 臨床生理, 5, 39-46.
4. 森谷 紱 (1990) 寒冷環境と運動——主として防衛体力の観点から. 体力科学, 39, 18-19.
5. 森谷 紱, 新田裕子 (1996) 芳香の保養効果. 日本生気象学会雑誌 32(4)125-134.
6. 森谷 紱 (1997) 高齢者の生活と寒冷適応. 体力科学, 46(1), 18-19.
7. 松本徳子, 森谷 紱 (1998) 身体運動と免疫機能との関連. 北海道大学教育学部紀要, 16, 63-75.
8. 森谷 紱, 小田史郎(2002)香り効果判定における自律神経機能と感情指標の対応. AROMA RESEARCH, 3(4), 72-77.
9. 水野(松本) 徳子, 水野真佐夫, 森谷 紱 (2003) 総説 術後癌患者における疼痛・疲労感・免疫能へ及ぼす身体運動の効果. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 88, 121-130.
10. 小田史郎, 井瀧千恵子, 森谷 紱 (2003) 総説 夕方における快適自己ペースの運動の実施が青年男女の夜間睡眠に及ぼす影響. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 88, 131-140.
11. 井瀧千恵子, 森谷 紱 (2005) 総説 青年期女性の身体運動による情動(感情)の最適化に関する検討. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 97, 81-93.

12. 角田 (矢野) 悦子, 森谷黎 (2005) 総説 植物カモミールの摂食が心身に及ぼす効果. 北海道大学大学院教育学研究科紀要, 97, 95-103.

(3) 著書 (含 Proceedings)

1. Moriya, K. J. Arnold and J. LeBlanc (1998) (分担) Shivering and nonshivering thermogenesis in exercised, cold-deacclimated rats. High-Altitude Medical Science (ed. Ueda, G et al) (Shinshu Univ., Japan), pp.425-430.
2. Moriya, K and Fukuchi, Y (1990) (分担) Physical fitness as an important element of successful aging. Fitness for the aged, disabled and industrial worker (ed. Kaneko, M) (Human Kinetics Publishers, USA), pp.18-20.
3. 伊藤真次, 森谷黎 (1991) 「新ストレス学」朝倉書店.
4. Moriya, K, Nakagawa, K, Hattori, M, Suda, T, Yokoyama, S and Fukuchi, Y (1992) (分担) Thermoregulatory reactions in a cold environment and physical fitness. High-Altitude Medicine (ed. Ueda, G et al) pp.512-517.
5. Moriya, k (1995) (分担) Relaxation Training with a Biofeedback System: Effects on Physiological and Psychological Functions of Students. Biobehavioral Self-Regulation (Eds. T. Kikuchi et al) (Springer-Verlag), pp.338-341.
6. 森谷黎 (1997) スポーツと情動. 「情動とホルモン」(伊藤真次他編) 中山書店 (東京), 295-310.
7. 須田力, 森谷黎, 中川功哉 (1997) 「積雪寒冷地における高齢者の生活と運動」北海道大学図書出版会 (札幌), 1-121.
8. Moriya, K and Nakagawa, K (1997) Development of physical fitness and autonomic thermoregulatory capacity to the cold of exercise-trained men studied longitudinally. Thermal Physiology (Eds. B. Nielsen-Johannsen and R. Nielsen) (Proceedings from the 1997 Symposium on Thermal Physiology), 171-174.
9. 森谷黎, 本間行彦, 谷宏 (1998) 寒冷地の生活と健康. 「北国の健康科学」(北国の健康科学研究会編) 学術図書出版社 (東京), 1-34.
10. 森谷黎, 上野武治 (1998) (2000; 2刷) 脳の働きと心の健康. 「北国の健康科学」(北国の健康科学研究会編) 学術図書出版社 (東京), 59-72.
11. Moriya, K Miyajima, M and Nakagawa, K (1999) Influences of the menstrual cycle on thermoregulatory reactions in young and elder adult women. Proceedings from 1998 International Symposium on Human Biometry, Eds Shibata, M. et al Yamanashi Institute of Environmental Sciences, Japan, 285-290.
12. Suda, R, Asao, H and Moriya, K (Eds) (2003) Physical activity, health promotion, and regional development in Northeast Eurasia. Proceedings of the International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia 2002. Kyodo Bunkasya (Sapporo), 1-104.
13. Moriya, K, Itaki, C, Oda, S and Sugawara, M (2003) Water exercise of moderate intensity improves emotion and sleep consciousness, with special reference to catecholamine secretion. Physical activity, health promotion, and regional development in

- Northeast Eurasia. Kyodo Bunkasya (Sapporo) International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia. 1-7.
14. Oda, S, Seino, A, Takumi, Y, Sugawara, M and Moriya, K (2003) The effects of comfortable self-paced running in the late evening on rectal temperature and sleep. Physical activity, health promotion, and regional development in Northeast Eurasia. Kyodo Bunkasya (Sapporo), 8-12.
  15. Takumi, Y, Nakagawa, K and Moriya, K (2003) The promotion of active and healthy life in participants of YOSAKOI SORAN in Hokkaido. Physical activity, health promotion, and regional development in Northeast Eurasia. Proceedings of the International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia. Kyodo Bunkasya (Sapporo), 35-39.
  16. 森谷 絜 (2004) 身体運動と香り「アロマサイエンスシリーズ 21 においと医学・行動遺伝 (和田昌士・山崎邦郎編著)」フレグランスジャーナル社 (東京), 204-212.
  17. 森谷 絜 (2005) 芳香の利用による QOL 向上「アロマサイエンスシリーズ 21 香りの研究 エッセイ (渋谷達明編著)」フレグランスジャーナル社 (東京), 184-187.
  18. 森谷 絜 監修/上杉伊宏・晴山紫恵子・川初清典編著 (2006) 生涯スポーツと運動の科学, 市村出版 (東京), 1-164.

#### (4) 国際学会報告

1. Moriya, K, Maekubo, H, Hiroshige, T and Itoh, S (1978, 9) Role of free fatty acids and ketone bodies in nonshivering thermogenesis in cold-acclimated rats. International Symposium on Circumpolar Health (Novosibirsk, USSR)
2. Moriya, K and Hiroshige, T (1980, 7) Simulation of nonshivering thermogenesis in cold: Assessment of uptake and oxidation of free fatty acids in the thermogenesis in rats treated chronically with norepinephrine and thyroxine. International Symposium "Survival in the Cold" (Prague, Czechoslovakia)
3. Moriya, K and Hiroshige, T (1980, 7) Norepinephrine-dependent increase in thermogenesis and utilization of free fatty acids in exercise-trained and cold-adapted rats. International Congress of Physiological Science (Budapest, Hungaria)
4. Moriya, K (1984,9) Cross adaptation mechanism between exercise training and cold adaptation: Assessment of free fatty acids metabolism in norepinephrine-induced heat production and thyroid hormone dynamics. 10th International Congress of Biometeorology (Tokyo, Japan)
5. Moriya, K, T. Yahata, K Ogawa and A Kuroshima (1986, 7) Lasting cold adaptability in rats reared in warm after in cold for many generations. XXXth International Congress of Physiological Science (Vancouver, Canada)
6. Moriya, K J. Arnold and J. LeBlanc (1987, 8) Shivering and nonshivering thermogenesis in exercised, cold-deacclimated rats. International Symposium on High-altitude Medical Science (Matsumoto, Japan)
7. Moriya, K and Fukuchi, Y (1988, 9) Physical fitness as an important element of

- successful aging. International Council for physical Fitness Research, 1988 Symposium Osaka (Osaka, Japan)
8. Moriya, K, Nakagawa, K and Hattori, M (1991, 8) Thermoregulatory reactions in a cold environment and physical fitness. 4th International Symposium on High-Altitude Medical Science (Matsumoto, Japan)
  9. Moriya, K (1993, 6) Relaxation Training with a Biofeedback System: Effects on Physiological and Psychological Functions of Students. Third International Congress on Biobehavioral Self-Regulation (Tokyou, Japan)
  10. Moriya, K (1995, 8) Lifestyle and Health Consciousness of University Students. X V th Conference of the International Union for Health Promotion and Education (Makuhari, Japan)
  11. Moriya, K, Miyajima, M and Nakagawa, K (1998, 8) The influences of menstrual cycle on the thermoregulatory reactions among young and elder adult women. 1998 International Symposium on Human Biometeorology (Yamanashi, Japan)
  12. Matsumoto, T, Oda, S, Takeda, H, Sugawara, M and Moriya, K (1999, 8) Comfortable self-paced running induce changes in natural immunity and hormone concentration. 13th International Congress of World Confederation for Physical Therapy (Yokohama, Japan)
  13. Mizuno, T, Oda, S, Takeda, H, Sugawara, M and Moriya, K (2001, 6) Immunological and hormonal responses to comfortable self-paced running in untrained healthy volunteers. *Med Sci Sport Exerc*, 33, 5(suppl), 303.
  13. Mizuno, T, Oda, S, Takeda, H, Sugawara, M and Moriya, K (2003, 6) *Med Sci Sports Exerc*, 35(5) suppl: S379.
  14. Watanabe, M, Moriya, K, Hashimoto, K and Agishi Y (2003,7) Effects of hot spring (johzankei) bathing on stress reduction 38th International Conference of SITH in collaboration with OMth. 第38回国際温泉学会 (Beppu, Japan)
  15. Moriya, K, Itaki, C, Oda, S and Sugawara, M (2002, 8) Water exercise of moderate intensity improves emotion and sleep consciousness, with special reference to catecholamine secretion. International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia (Sapporo, Japan)
  16. Oda, S, Seino, A, Takumi, Y, Sugawara, M and Moriya, K (2002, 8) The effects of comfortable self-paced running in the late evening on rectal temperature and sleep. International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia (Sapporo, Japan)
  17. Takumi, Y, Nakagawa, K and Moriya, K (2002, 8) The promotion of active and healthy life in participants of YOSAKOI SORAN in Hokkaido. International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia (Sapporo, Japan)
  18. Moriya, K (2002, 8) Self-paced comfortable exercise promotes health level. International Council on Health, Physical Education and Sports in Northeast Eurasia. (Keynote Speech)(Sapporo, Japan)
  19. Moriya, K (2003, 2) Physical Activity and Productive Aging: Perspective of Quality of

Life. International Symposium “Physical Activity and Productive Aging”

20. Kakuta, H, Yano-Kakuta, E and Moriya, K (2006, 6) Psychological and physiological effects in humans of eating chamomile jelly. International Symposium on Chamomile Research, Development and Production, (presor University, Slovakia)
21. Yano-Kakuta, E and Moriya, K (2006, 6) Effects of successive ingestion of warm chamomile jelly on night sleep. International Symposium on Chamomile Research, Development and Production, (Presor University, Slovakia)

#### (5) 国内学会報告

1. 森谷 黎, 伊藤 真次 (1968.3) バソプレシンによるラットの脂肪分解活性抑制作用. 日本内分泌学会 (京都)
2. 森谷 黎, 吉村 啓一, 伊藤 真次 (1969.3) 皮下脂肪の脂酸構成について. 日本生理学会 (米子市)
3. 森谷 黎, 伊藤 真次 (1971.3) 脂肪組織と血中 FFA の脂酸構成について. 日本生理学会大会, (東京)
4. 森谷 黎, 黒島 晨汎, 伊藤 真次 (1972.3) アイヌ人の血漿遊離脂酸の脂酸組成. 日本生理学会大会 (盛岡市)
5. 森谷 黎, 黒島 晨汎, 伊藤 真次 (1972.10) 累代寒冷飼育ネズミの耐寒性. 日本生気象学会大会 (松本市)
6. 森谷 黎, 黒島 晨汎, 伊藤 真次 (1972.10) 累代寒冷飼育ネズミの脂肪組織脂酸構成. 日本生気象学会大会 (松本市)
7. 黒島 晨汎, 森谷 黎, 伊藤 真次 (1972.10) 累代寒冷飼育ネズミの甲状腺機能. 日本生気象学会大会 (松本市)
8. 森谷 黎, 黒島 晨汎, 伊藤 真次 (1973.4) 累代寒冷飼育ラットの非ふるえ産熱機構. 日本生理学会大会 (福岡市)
9. 前久保博士, 森谷 黎, 伊藤 真次 (1973.10) 累代寒冷環境飼育ラットの血液成分について. 日本生気象学会大会 (東京)
10. 森谷 黎, 伊藤 真次 (1973.10) 寒冷馴化ラットにおける血中遊離脂酸の代謝回転速度. 日本生気象学会大会 (東京)
11. 森谷 黎 (1974.7) 寒冷適応における脂質代謝の意義. 第 12 回生理学若手シンポジウム「寒冷適応」(札幌市)
12. 前久保博士, 森谷 黎, 広重力 (1975.3) 寒冷適応ラットの非ふるえ産熱におけるケトン体の役割. 日本生理学会大会 (仙台市)
13. 森谷 黎, 前久保博士, 広重力 (1976.10) 寒冷適応ラットの非ふるえ産熱における血漿遊離脂肪酸のとりこみと酸化. 日本生気象学会大会 (札幌市)
14. 森谷 黎, 前久保博士, 広重力 (1977.10) 第二次性比に及ぼす寒冷ストレスの影響. 日本生気象学会大会 (草津市)
15. 森谷 黎, 山口 智弘, 広重力 (1978.10) 寒冷適応ラットの薬物感受性. 日本生気象学会大会 (大阪)
16. 森谷 黎, 井川 和夫, 広重力 (1979.3) ラットのノルエピネフリン産熱に及ぼす運動鍛錬効

- 果、日本生気象学会大会（福岡市）
17. 森谷黎，広重力（1980.10）寒冷適応のシュミュレーション——ノルエピネフリンとサイロキシン連続投与の脂肪酸酸化に及ぼす影響——日本生気象学会大会（浜松市）
  18. 森谷黎（1981.10）運動鍛錬者の局所寒冷反応、日本生気象学会大会（宇部市）
  19. 森谷黎（1982.2）脱寒冷適応に及ぼす運動鍛錬効果、日本生気象学会大会（札幌市）
  20. 森谷黎（1983.7）大学生にみられる生活リズムと自覚的健康状態の相関——生活リズムの定量的とりあつかいの可能性、第34回日本体育学会大会（札幌市）
  21. 森谷黎，八幡剛浩，黒島晨汎（1984.10）累代寒冷飼育による寒冷適応能の持続性存続現象、日本生理学会大会（前橋市）
  22. 森谷黎（1984.9）大学生における食生活の実情及びそれと自覚的健康状態との相関、第35回日本体育学会大会（鹿児島市）
  23. 森谷黎，福地保馬（1985.9）簡易健康調査表（Hokudai Health Index: HHI）の作製とその利用による青年及び高齢者の健康度把握、第36回日本体育学会大会（岐阜市）
  24. 森谷黎（1985.10）運動負荷時の甲状腺ホルモン動態、日本生気象学会大会（筑波市）
  25. 森谷黎，中川功哉（1987.10）バイオフィードバックシステムによるリラクセーション訓練の心身諸機能に及ぼす影響、第38回日本体育学会大会（京都）
  26. 森谷黎，福地保馬（1988.10）在宅高齢者の健康状態，生きがい感，基礎体力の三年後の変化、第39回日本体育学会大会（福島市）
  27. 森谷黎，中川功哉（1988.10）北海道出身女子陸上競技選手における寒冷血管反応と最大酸素摂取能の相関、日本生気象学会大会（旭川市）
  28. 森谷黎（1988.10）最大下運動負荷時の体温と血液組成の変動、日本生気象学会大会（旭川市）
  29. 森谷黎（1989.9）寒冷環境と運動——主として防衛体力の観点から、第44回日本体力医学会大会（札幌市）
  30. 森谷黎，福地保馬，布上恭子（1990.10）都市部におけるスポーツ健康教室参加高齢者の生活・健康・生きがいに関する研究、第41回日本体育学会大会（岡山市）
  31. 布上恭子，森谷黎，福地保馬（1990.10）都市部におけるスポーツ健康教室参加高齢者の基礎体力と一日あたり歩行数に関する研究、第41回日本体育学会大会（岡山市）
  32. 中川功哉，森谷黎（1991.9）ポリグラフによる冷水負荷時の生理反応に関する研究、第47回日本体力医学会大会（金沢市）
  33. 服部正明，須田力，森谷黎（1992.9）寒冷曝露時の体温調節反応と最大酸素摂取量との関係、第47回日本体力医学会大会（山形市）
  34. 中川功哉，森谷黎（1992.9）ポリグラフによる冷氣負荷時の生理反応に関する研究、第47回日本体力医学会大会（山形市）
  35. 森谷黎，堀内雅弘，中川功哉（1992.10）成人女性の寒冷血管反応と最大酸素摂取能に及ぼす性周期の影響、第31回日本生気象学会大会（東京）
  37. 森谷黎，（1994.10）青年男子における寒冷気曝露時体温調節反応の年変動、第33回日本生気象学会大会（広島市）
  38. 森谷黎，中川功哉，堀内雅弘（1994.11）成人女性の寒冷血管反応とピーク酸素摂取能に及ぼす性周期の影響、第2回日本体力医学会北海道地方会（札幌市）

39. オカンボ, メリサ・ブラザ, 森谷 紘 (1994.11) 日本とフィリピンの母親の栄養と健康に関する比較研究. 平成6年度北海道体育学会大会 (小樽市)
40. 藏満保幸, 中川功哉, 森谷 紘 (1995.5) 睡眠に関する研究——身体活動と睡眠ポリグラフ——. 第3回日本運動生理学会 (所沢市)
41. 新田裕子, 森谷 紘 (1995.6) 環境中の香り物質に対する生体反応の個人差. 第23回日本バイオフィードバック学会大会 (福井市)
42. 宮島成江, 森谷 紘, 福地保馬 (1995.9) クアハウス基点利用者の利用実態と健康意識. 第9回疲労研究会 (福島市)
43. 本田健一, 森谷 紘 (1995.11) 生涯スポーツとしての卓球と高齢者の健康・生きがいについて. 平成7年度北海道体育学会大会 (札幌市)
44. 宮島成江, 小田史郎, 森谷 紘, 阿岸祐幸 (1996.6) ラベンダー精油が入浴中および出浴後の自律神経機能に与える影響. 第24回日本バイオフィードバック学会 (札幌市)
45. 侘美靖, 藏満保幸, 森谷 紘, 中川功哉 (1996.7) 睡眠に関する研究——スポーツ活動と睡眠——. 第4回日本運動生理学会大会 (名古屋市)
46. 松本徳子, 森谷 紘, 武田秀勝 (1997.5) 臨床実習の前後における免疫系と性格特性についての基礎的研究. 北海道リハビリテーション学会 (札幌市)
47. 小田史郎, 福岡永告子, 松本徳子, 中川功哉, 森谷 紘 (1997.11) 水中運動実施後に認められるリラクゼーション効果. 第37回北海道体育学会 (札幌市)
48. 森谷 紘, 吉川理香 (1997.6) 成人女性の月経周期と心身機能の変動. 第25回日本バイオフィードバック学会 (尼崎市)
49. 侘美靖, 藏満保幸, 小田史郎, 森谷 紘, 中川功哉 (1997.7) 睡眠に関する研究——スポーツ活動と自覚的睡眠状況——. 第6回日本運動生理学会 (筑波市)
50. 小田史郎, 侘美靖, 森谷 紘, 中川功哉 (1997.7) 水中運動が夜間睡眠に及ぼす影響の睡眠ポリグラフによる検討. 第6回日本運動生理学会 (筑波市)
51. 藤原喜一郎, 森谷 紘, 福地保馬 (1997.9) 壁紙の色彩が作業時と作業後の自律神経機能に及ぼす影響. 第13回疲労研究会 (大阪)
52. 吉川理香, 森谷 紘, 福地保馬 (1997.9) VDT作業による疲労の発現とその回復に及ぼす花の影響. 第13回疲労研究会 (大阪)
53. 森谷 紘, 宮島成江, 中川功哉 (1997.9) 成人女性の体温調節反応に及ぼす性周期の影響. 第52回日本体力医学会 (大阪)
54. 森谷 紘, 能登恵, 小田史郎 (1998.7) 運動は高齢者においても積極的休養法たりうるか. ——パークゴルフと卓球からの検討—— 日本運動生理学第6回大会 (福岡市)
55. 松本徳子, 小田史郎, 武田秀勝, 菅原 誠, 森谷 紘 (1998.7) 快適感を伴う走運動と自然免疫との関連について. 日本運動生理学第6回大会 (福岡市)
56. 渡辺明日香, 森谷 紘 (1998.6) Feldenkrais呼吸レッスン法の生理心理的效果に及ぼす個人のイメージ鮮明性の影響. 第26回日本バイオフィードバック学会 (奈良)
57. 松本徳子, 武田秀勝, 森谷 紘 (1998.6) 快適感を伴う走運動が血中NK細胞活性値と $\beta$ -エンドルフィン濃度に及ぼす影響. 北海道リハビリテーション学会第43回大会 (札幌)
58. 松本徳子, 小田史郎, 武田秀勝, 菅原誠, 森谷 紘 (1998.9) 快適感を伴う走運動と免疫機能——体温との関連について. 日本体力医学会第53回大会 (横浜)

59. 松本徳子, 小田史郎, 武田秀勝, 菅原誠, 森谷黎 (1999.11) 快適感を伴う走運動が NK 細胞活性値および脳波に与える影響. 北海道体育学会 (岩見沢)
60. 武田秀勝, 乗安整而, 森谷黎, 松本徳子, 秋月一城, 許栄海 (1999.11) ストレストにおけるエゾウコギエキス投与の NK 細胞活性に及ぼす影響. 北海道体育学会 (岩見沢)
61. 宮島成江, 小田史郎, 松本徳子, 清水富弘, 阿岸祐幸, 森谷黎 (1999.1) 海水温浴における塩類濃度が心拍応答に与える影響. 第 37 回日本生気象学会 (札幌)
62. 中村由里, 小田史郎, 新山雅美, 渡辺明日香, 福地保馬, 森谷黎 (1999.6) 犬による animal assisted therapy のための基礎研究 — 面識のない幼犬を見ることによって青年男性に現れた生理的・心理的反応. 第 27 回日本バイオフィードバック学会 (東京)
63. 佐美靖, 小田史郎, 森谷黎, 中川功哉 (1999.7) スポーツ活動と自覚的睡眠状況. 第 7 回日本運動生理学会
64. 森谷黎 (1999.9) 女性のストレスと体温調節. 第 14 回運動と体温の研究会 (熊本市)
65. 小田史郎, 水野徳子, 中川功哉, 森谷黎 (1999.9) レクリエーション的な水中運動が夜間睡眠に与える影響 — 高強度の陸上運動による影響との比較 —. 第 54 回日本体力医学会 (熊本市)
66. 小田史郎, 森谷黎 (2000.6) 夕方早い時間帯のレクリエーション的な水中運動が夜間睡眠に及ぼす影響. 日本睡眠学会第 25 回学術集会 (東京)
67. 森谷黎, 小田史郎, 渡部 (宮島) 成江, 佐美靖 (2000.9) 高齢者におけるラベンダー足浴の休養効果. 第 55 回日本体力医学会 (富山市)
68. 渡辺明日香, 小田史郎, 佐美靖, 森谷黎 (2000.11) 50 分間の快適自己ペース走が気分に与える影響. 平成 12 年度北海道体育学会 (滝川市)
69. 森谷黎, 小田史郎, 高橋貴子, 武田秀勝, 菅原誠 (2000.11) 50 分間の快適自己ペース走が血中 NK 細胞活性値とカテコールアミン濃度に及ぼす影響. 平成 12 年度北海道体育学会 (滝川市)
70. 佐美靖, 渡辺明日香, 小田史郎, 森谷黎 (2000.11) 50 分間の快適自己ペース走が心拍数と心臓自律神経に及ぼす影響. 平成 12 年度北海道体育学会 (滝川市)
71. 小田史郎, 清野彩, 菅原誠, 森谷黎 (2000.11) 50 分間の快適自己ペース走が深部体温と夜間睡眠に及ぼす影響. 平成 12 年度北海道体育学会 (滝川市)
72. 高橋貴子, 渡辺明日香, 森谷黎 (2000.11) 50 分間の快適自己ペース走における気分と血中 NK 細胞活性の変動. 第 4 回看護総合科学会 (札幌市)
73. 渡辺明日香, 岩田銀子, 森山隆則, 長谷部夏子, 森谷黎 (2000.10) 質的に異なる 2 種類の作業活動による心理的影響の特徴と差違. 平成 12 年度北海道作業療法学会 (北見市)
74. 森谷黎, 小田史郎, 中村裕美, 矢野悦子, 角田英男 (2001.6) カモミール茶摂取による自律神経機能と感情指標の変化 — 青年男子における検討 — 第 29 回日本バイオフィードバック学会 (札幌市)
75. 渡辺明日香, 岩田銀子, 森山隆則, 長谷部夏子, 森谷黎 (2001.6) エアロビクダンスが心身に及ぼす影響 — 気分と主観的睡眠感を中心として — 日本作業療法学会 (金沢市)
76. 渡辺明日香, 岩田銀子, 森山隆則, 森谷黎 (2001.8) low-impact のエアロビクダンスの気分・主観的睡眠感への影響とストレスホルモンの関連. 日本ダンス・セラピー教会第 10 回東京大会 (東京)

77. 岩崎輝雄, 岩崎洋一, 森谷黎, 阿岸祐幸 (2001.5) 気候区からみた百歳長寿者の居住分布とその経年変化に関する調査. 第 66 回日本温泉気候物理医学会 (四日市市)
78. 森谷黎, 小田史郎, 清野彩, 侘美靖, 井瀧千恵子, 渡部正江, 福岡永告子 (2001.9) 夕方に実施した水中運動による情動と夜間睡眠の改善 — 中高年女性における検討 — 第 52 回日本体育学会 (札幌市)
79. 森谷黎, 井瀧千恵子, 清野彩, 侘美靖, 小田史郎, 渡部成江, 菅原誠 (2001.9) 50 分間, 30°C での水中運動実施による血中カテコールアミン濃度と NK 細胞活性の変動. 第 56 回日本体力医学会大会 (仙台市)
80. 侘美靖, 小田史郎, 渡部明日香, 森谷黎 (2001.9) 50 分間の快適自己ペース走による心臓自律神経と血中ノルアドレナリン濃度の変動. 第 56 回日本体力医学会大会 (仙台市)
81. 小田史郎, 清野彩, 侘美靖, 菅原誠, 森谷黎 (2001.9) 就床 2 - 3 時間前における快適自己ペース走の実施が深部体温と夜間睡眠に及ぼす影響. 第 56 回日本体力医学会大会 (仙台市)
82. 清野彩, 小田史郎, 森谷黎 (2001.9) 中高年女性の情動と睡眠に及ぼす水中運動の影響 第 56 回日本体力医学会大会 (仙台市)
83. 森谷黎, 小田史郎 (2001.8) 香り効果判定における自律神経機能と感情指標の対応. 第 2 回アロマ・サイエンス・フォーラム 2001 (東京)
84. 侘美靖, 中川功哉, 森谷黎 (2001.12) YOSAKOI ソーラン踊り練習時の気分の変化. 平成 13 年度北海道体育学会 (札幌市)
85. 清野彩, 橋本恵子, 千葉智美, 小田史郎, 侘美靖, 塚原道夫, 森谷黎 (2001.12) 週 1 回 10 週間の水中ウォーキング教室に参加した中高年女性における自覚的 ADL 評価と精神的健康感の変化. 平成 13 年度北海道体育学会 (札幌市)
86. 小田史郎, 千葉智美, 清野彩, 橋本恵子, 侘美靖, 福岡永告子, 塚原道夫, 森谷黎 (2001.12) 週 1 回 10 週間の水中ウォーキング教室に参加した中高年女性の体力変化. 平成 13 年度北海道体育学会 (札幌市)
87. 百々瀬いづみ, 荒川義人, 森谷黎 (2002.9) 家庭科教諭がとらえた高校生の健康と食生活. 第 49 回日本学校保健学会 (札幌市)
88. 鈴木純子, 荒川義人, 森谷黎 (2002.9) 大学生の食事摂取状況と食生活に関する行動変容段階. 第 49 回日本学校保健学会 (札幌市)
89. 本間裕子, 井瀧千恵子, 菅原誠, 渡辺明日香, 森谷黎 (2002.9) 中高年女性における 50 分間の快適自己ペース運動が気分と  $\beta$  エンドルフィン濃度に及ぼす影響. 第 57 回日本体力医学会 (高知市)
90. 橋本恵子, 福田紀子, 侘美靖, 渡辺明日香, 森谷黎 (2002.9) 中高年女性における 50 分間の快適自己ペース運動が脳波に及ぼす影響. 第 57 回日本体力医学会 (高知市)
91. 井瀧千恵子, 本間裕子, 菅原誠, 渡辺明日香, 森谷黎 (2002.9) 中高年女性における 50 分間の快適自己ペース運動が血中 NK 細胞活性とカテコールアミン濃度に及ぼす影響. 第 57 回日本体力医学会大会 (高知市)
92. 小田史郎, 清野彩, 橋本恵子, 福田紀子, 渡辺明日香, 森谷黎 (2002.9) 中高年女性における 50 分間の快適自己ペース運動が体温に及ぼす影響. 第 57 回日本体力医学会大会 (高知市)

93. 渡辺明日香, 侘美靖, 福田紀子, 本間裕子, 橋本恵子, 森谷黎 (2002.9) 中高年女性における 50 分間のダンスムーブメント活動が脳波感性スペクトルと気分に及ぼす影響. 第 57 回日本体力医学会大会 (高知市)
94. 清野彩, 小田史郎, 井瀧千恵子, 森谷黎 (2002.9) 中高年女性における夕方 50 分間, 34℃での水中運動実施が情動と夜間睡眠に及ぼす影響. 第 57 回日本体力医学会大会 (高知市)
95. 森谷黎, 井瀧千恵子, 小田史郎, 清野彩, 侘美靖, 菅原誠 (2002.9) 中高年女性における 50 分間, 34℃での水中運動実施が血中 NK 細胞活性とカテコールアミン濃度に及ぼす影響 — 水温 30℃との比較 — 第 57 回日本体力医学会大会 (高知市)
96. 侘美靖, 中川功哉, 森谷黎 (2002.9) 祭り舞踊の運動特性と健康づくりに関する研究 — 高知よさこい踊り・阿波踊り・YOSAKOI ソーラン踊りの比較 —. 第 57 回日本体力医学会大会 (高知市)
97. 森谷黎, 渡辺明日香, 橋本恵子 (2002.9) 身体活動が脳機能と感情に及ぼす影響の検討. 北大脳科学ワークショップ (小樽市)
98. 森谷黎 (2002.5) 「自律神経機能と感情指標の関連」脳機能と感情研究会 (札幌市)
99. 森谷黎 (2002.9) 「植物が人間の心身にもたらす生理的・心理的効果」シンポジウム「緑を育てる楽しみと効用」北海道造園学会シンポジウム (札幌市)
100. 井瀧千恵子, 森谷黎, 門間正子, 小田史郎, 大塚吉則, 武田秀勝 (2002.12) 青年女性の快適自己ペース運動が血中 NK 細胞活性とカテコールアミン濃度に及ぼす影響. 平成 14 年度北海道体育学会 (札幌市)
101. 侘美靖, 森谷黎, 百々瀬いづみ, 高橋紀夫, 高木昌夫 (2002.12) 中高年水中ウォーキング教室参加者の健脚度および健康自覚の変化. 平成 14 年度北海道体育学会 (札幌市)
103. 渡辺明日香, 森谷黎, 井瀧千恵子, 侘美靖, 小田史郎 (2003.8) 中高年女性における 50 分間のダンスムーブメント活動が血中カテコールアミン濃度と NK 細胞活性に及ぼす影響. 第 11 回日本運動生理学会 (名古屋市)
104. 森谷黎, 小田史郎, 渡辺明日香, 侘美靖, 菅原誠 (2003.8) 青年男性の快適自己ペース走 50 分間が体温と血中 NK 細胞活性に及ぼす影響. 第 11 回日本運動生理学会 (名古屋市)
105. 侘美靖, 百々瀬いづみ, 井瀧千恵子, 森谷黎 (2003.8) 弾性ゴム運動を主とした「高齢者健康づくり教室」参加者心身健康度の改善. 第 11 回日本運動生理学会 (名古屋市)
106. 森谷黎, 橋本好弘, 花蘭一正, 河口明人 (2003.9) Visual Analog Scale (VAS) で評価した救急隊員の勤務時における心身負荷. 第 58 回日本体力医学会大会 (静岡)
107. 渡辺明日香, 森谷黎, 本間裕子, 井瀧千恵子, 侘美靖 (2003.9) 中高年女性における 50 分間のダンスムーブメント活動 (DMA) が脳波 %power と感情におよぼす影響. 第 58 回日本体力医学会大会 (静岡市)
108. 井瀧千恵子, 森谷黎, 門間正子, 小田史郎, 大塚吉則, 武田秀勝 (2003.9) 青年期女性の快適自己ペース走が心臓自律神経活動とカテコールアミン濃度に及ぼす影響. 第 58 回日本体力医学会大会 (静岡市)
109. 侘美靖, 井瀧千恵子, 森谷黎 (2003.9) 北国の中高年者における冬道転倒セルフエフィカシーと健脚度指標の関連. 第 58 回日本体力医学会大会 (静岡市)
110. 工藤亮子, 森谷黎 (2003.9) 低エネルギー糖質甘味料が感情におよぼす影響. 第 58 回日本体力医学会大会 (静岡市)

111. 橋本好弘, 森谷梨, 花蘭一正 (2003.9) 心拍変動からみた救急隊員の勤務時心身負荷. 第58回日本体力医学会大会 (静岡市)
112. 渡部成江, 森谷梨, 阿岸裕幸, 橋本恵子 (2003.10) 天然温泉 (定山溪) 浴と人工入浴剤 (定山溪) 入浴が気分, 心拍数, 体温に与える影響. 第42回日本生気象学会 (神戸市)
113. 森谷梨, 渡部成江, 阿岸裕幸, 橋本恵子 (2003.10) 天然温泉 (定山溪) 浴と人工入浴剤 (定山溪) 入浴が自覚的睡眠感に与える影響. 第42回日本生気象学会 (神戸市)
114. 角田英男, 矢野悦子, 森谷梨 (2003.5) 温めたカモミールゼリーの摂食による末梢皮膚温の上昇. 第49回日本生理人類学会 (福岡市)
115. 小田史郎, 森谷梨, 渡辺明日香, 清野彩, 福田紀子 (2003.6) 中高年女性における50分間のダンスムーブメント活動が自覚的睡眠感に及ぼす影響. 日本睡眠学会第28回定期学術集会 (名古屋市)
116. 福田紀子, 香坂雅子, 渡辺明日香, 清野彩, 小田史郎, 小林理子, 森谷梨 (2003.6) 中高年女性における快適自己ペース歩行が睡眠・覚醒におよぼす影響. 日本睡眠学会第28回定期学術集会 (名古屋市)
117. 橋本好弘, 森谷梨, 川内健太郎 (2003.5) 消防職員の勤務時における身体負荷——救急隊員の心拍変動からの検討——平成15年度日本火災学会 (東京)
118. 角田英男, 矢野悦子, 森谷梨 (2003.9) 温めて食べる機能性ハーブゼリー——嚥下容易な嗜好性ゼリー食品——日本摂食嚥下リハビリテーション学会 (福岡市)
119. 橋本好弘, 森谷梨, 川内健太郎 (2003.5) 救急隊員の勤務時における身体負荷に関する研究 第14回北海道救急医学会救急隊員部会研修会 (室蘭)
120. 森谷梨, 小田史郎, 渡辺明日香, 侘美靖, 菅原誠 (2003.3) 青年男子の快適自己ペース走50分間が体温と血中NK細胞活性に及ぼす影響の関連. 第11回日本運動生理学会大会 (名古屋)
121. 古橋卓, 平田眞, 田中絵利子, 大竹正枝, 矢野悦子, 森谷梨, 角田英男, 鈴木卓, 大澤勝次 (2003.6) ハーブ苗の移植作業および播種作業が, 生理・心理に及ぼす影響. 植物と人間の関係学会 (神奈川)
122. 渡部成江, 森谷梨, 橋本恵子, 阿岸裕幸 (2003.9) 天然温泉浴 (定山溪) のストレス軽減効果. 第38回国際温泉科学会別府大会 (別府市)
123. 橋本好弘, 森谷梨 (2003.10) 出勤件数と仮眠時間からの救急隊の身体負荷考察. 北海道救急医学会 (札幌市)
124. 渡辺明日香, 森谷梨, 清野彩, 本間裕子 (2003.4) 中高年女性における50分間のダンスムーブメント活動が心臓自律神経活動と感情におよぼす影響. 第5回日本体力医学会北海道地方会 (札幌市)
125. 井瀧千恵子, 森谷梨, 小田史郎, 大塚吉則, 武田秀勝 (2003.4) 青年期女性の快適自己ペース走が感情と血中ホルモン濃度に及ぼす影響. 第5回日本体力医学会北海道地方会 (札幌市)
126. 森谷梨, 橋本好弘, 花蘭一正, 河口明人 (2003.9) 主観的感覚尺度 (VAS) を用いた救急隊員の勤務負荷考察. 第58回日本体力医学会大会 (静岡)
127. 橋本好弘, 花蘭一正, 森谷梨 (2003.9) 心拍変動や心臓自律神経活動変化からの救急隊員の勤務負荷考察. 第58回日本体力医学会大会 (静岡)

128. 工藤亮子, 森谷黎 (2003.9) 低エネルギー糖質甘味料が感情におよぼす影響. 第58回日本体力医学会大会 (静岡)
129. 鈴木純子, 荒川義人, 大塚吉則, 安江千歳, 森谷黎 (2003.11) 大学生における行動変容段階別アプローチと Glycemic Index (GI)を用いた栄養教育の有効性. 栄養改善学会北海道地方会 (札幌市)
130. 百々瀬いづみ, 荒川義人, 森谷黎 (2003.11) 北海道高校生の食事の実態～ 2 高校の朝食・夕食の食事記録から～ 栄養改善学会北海道地方会 (札幌市)
131. 橋本好弘, 川内健太郎, 森谷黎, 花蘭一正 (2004.4) 救急出動が救急隊員の心臓自律神経活動に及ぼす出動時間帯別影響. 第6回日本体力医学会北海道地方会 (札幌市)
132. 橋本好弘, 川内健太郎, 森谷黎, 花蘭一正 (2004) 災害出動時における消防隊員の心臓自律神経活動変化. 平成16年度日本火災学会研究発表会概要集. pp66-69
133. 小田史郎, 白川和希, 佐美靖, 森谷黎 (2004.7) 足浴のタイミングの違いが体温と夜間睡眠に及ぼす影響. 日本睡眠学会第29回定期学術集会 (東京)
134. 福田紀子, 渡辺明日香, 香坂雅子, 小田史郎, 小林理子, 森谷黎 (2004.7) 中高年女性における夕方のダンスムーブメント活動が睡眠・覚醒におよぼす影響. 日本睡眠学会第29回定期学術集会 (東京)
135. 矢野(角田)悦子, 橋本恵子, 生野寿恵, 角田英男, 森谷黎 (2004.6) 温めたカモミールゼリーの摂食が自覚的睡眠感に与える影響. 日本生理人類学会第51回大会 (札幌市)
136. 小林玄, 森谷きよし(黎), 井瀧千恵子, 渡辺明日香 (2004.9) 中高年女性の快適自己ペース運動による感情と脳波に対する影響. 第59回日本体力医学会大会 (さいたま市)
137. 森谷きよし(黎), 佐美靖, 井瀧千恵子, 渡辺明日香, 橋本好弘 (2004.9) 快適自己ペース運動(CSPE)を3ヶ月間継続することで認められた心身効果. 第59回日本体力医学会大会 (さいたま市)
138. 井瀧千恵子, 森谷きよし(黎), 佐美靖, 渡辺明日香 (2004.9) 青年期男性の快適自己ペース運動(CSPE)における感情と脳波感性スペクトルの変化. 第59回日本体力医学会大会 (さいたま市)
139. 小田史郎, 佐美靖, 福岡永告子, 森谷きよし(黎) (2004.9) 週2回12週間にわたる水中運動の実施が, 高齢女性の体力水準に及ぼす影響について. 第59回日本体力医学会大会(さいたま市)
140. 橋本好弘, 川内健太郎, 森谷きよし(黎), 橋上勉 (2004.9) 救急隊員の就業区分別にみた救急出動時における心臓自立神経活動への影響. 第59回日本体力医学会大会 (さいたま市)
141. 橋上勉, 橋本好弘, 川内健太郎, 森谷きよし(黎) (2004.9) 救急隊員と消防職員の Visual Analog Scale (VAS)で評価した救急隊員の勤務時における心身負荷. 第59回日本体力医学会大会 (さいたま市)
142. 川内健太郎, 森谷きよし(黎), 橋本好弘 (2004.9) 消防職員の勤務時における心身への負荷とその関連要因. 第59回日本体力医学会大会 (さいたま市)
143. 橋本好弘, 川瀬信, 澤田勝美, 橋上勉, 川内健太郎, 森谷黎 (2004.10) 災害活動時における消防隊員の活動負荷とヒートストレス発生危険・対策. 全国消防防災技術者会議(東京)
144. 川内健太郎, 橋本好弘, 森谷黎 (2004.12) 消防職員の勤務時における運動介入によって

- 生じた基礎体力と疲労感の改善. 平成 16 年度北海道体育学会研究大会プログラム・予稿集, 3 (札幌市)
145. 関谷正子, 角田 (矢野) 悦子, 生野寿恵, 森谷黎 (2004.12) 環境音楽の種類による聴取高齢者の生理的・心理的反応の違い. 平成 16 年度北海道体育学会研究大会プログラム・予稿集, 2 (札幌市)
146. 角田 (矢野) 悦子, 渡部成江, 森谷黎 (2005.6) 「温泉保養地 (札幌市・定山溪) における天然温泉浴が自覚的睡眠感に与える影響」第 30 回日本睡眠学会 (足利市)
147. 福田紀子, 香坂雅子, 森山隆則, 小林理子, 本間裕士, 森谷黎 (2005.6) 更年期女性における快適自己ペース歩行が睡眠におよぼす効果 1. 第 30 回日本睡眠学会 (足利市)
148. 香坂雅子, 福田紀子, 森山隆則, 小林理子, 本間裕士, 森谷黎 (2005.6) 更年期女性における快適自己ペース歩行が睡眠におよぼす効果 2. 第 30 回日本睡眠学会 (足利市)
149. 橋本好弘, 橋上勉, 森谷黎 (2005.9) 換気機能に対する影響から評価した消防活動の個別動作. 日本体力医学会第 60 回大会 (倉敷市)
150. 井瀧千恵子, 森谷きよし (黎) (2006.7) 若年女性の黄体期における 20 分間の快適自己ペース運動が感情と女性ホルモン濃度に与える影響. 日本運動生理学会 (東広島市)

### 3. 学会活動

- ① 1969 (昭和44) 年 日本生理学会入会
- ② 1972 (昭和47) 年 日本生気象学会入会
- ③ 1975 (昭和50) 年 International Society of Biometeorology 入会 (現在に至る)
- ④ 1979 (昭和54) 年 日本生理学会評議員 (現在に至る)
- ⑤ 1983 (昭和58) 年 日本体育学会入会 (現在に至る)
- ⑥ 1989 (昭和64) 年 日本体力医学会入会
- ⑦ 1991 (平成 2) 年 日本運動生理学会入会
- ⑧ 1995 (平成 3) 年 日本生気象学会評議員 (現在に至る)
- ⑨ 1996 (平成 4) 年 日本運動生理学会評議員 (現在に至る)
- ⑩ 1996 (平成 4) 年 日本体力医学会評議員 (現在に至る)
- ⑪ 1996 (平成 4) 年 日本健康教育学会入会 (現在に至る)
- ⑫ 2000 (平成 8) 年 日本栄養改善学会入会 (現在に至る)
- ⑬ 2000 (平成 8) 年 日本心身医学会入会 (現在に至る)